ONWARD

Press

第79期(2025年度)

中間株主通信

2025.3.1—2025.8.31

株式会社 オンワードホールディングス

証券コード：8016

株主の皆さまへ

株式会社オンワードホールディングス
代表取締役社長　保元 道宣

株主の皆さまにおかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2025年度中間連結会計期間（2025年3月1日から2025年8月31日まで）の事業の概況等につきましてご報告申し上げます。

当社グループは、戦略強化ブランドを中心に、商品・マーケティングの強化や、新規出店を着実に進展し、堅調に推移しました。また、昨年9月に完全子会社化した株式会社ウィゴーでは、SNS連動プロモーションやコラボアイテムが若年層への訴求力を高め、グループ全体の収益向上に寄与しました。

以上の結果、増収かつ全段階利益で増益を達成することができました。

また、当社グループでは、EBITDAを重要な経営指標と位置づけ、新規事業の創出やM&A等を活用した事業基盤の強化・拡大を図り、成長を加速してまいります。

今後も株主の皆さまのご期待にお応えできますよう、グループ一丸となって業績のさらなる拡大と企業価値の向上に努めてまいります。引き続き、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

当中間連結会計期間（2025年3月1日から2025年8月31日まで）の事業概況

当中間連結会計期間における日本経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果により、緩やかな回復基調が続いた一方、米国の通商政策の影響や、物価上昇の継続による消費者マインドの下振れ、原材料・エネルギー価格の高止まりなど、依然として先行き不透明な状況が続いており、消費者の購買行動は、より選択的になってきています。このような環境の中、当社グループでは、戦略強化ブランドを中心に、商品ラインナップやマーケティングを強化するとともに新規出店の着実な進展により、当中間連結会計期間の業績は堅調に推移しました。また、昨年9月に完全子会社化した株式会社ウィゴーでは、SNS連動型のプロモーションやコラボアイテムなど、Z世代を中心とした若年層へのブランド訴求施策が奏功し、グループ全体の収益性の拡大に寄与しました。以上の結果、連結売上高は1,126億36百万円（前年同期比18.4%増）、連結営業利益は57億36百万円（前年同期比9.2%増）、連結経常利益は55億21百万円（前年同期比5.9%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は48億22百万円（前年同期比17.4%増）となりました。また、当社グループでは、新規事業の創出やM&A等を活用した事業基盤の強化・拡大により成長を加速していく中で、会計基準の差異にとらわれることなく企業比較を容易にすることを目的とし、EBITDA（営業利益+減価償却費等）を重要な経営指標としています。当中間連結会計期間のEBITDAは84億8百万円（前年同期比9.3%増）となりました。

売上高	営業利益	当期純利益	EBITDA※
上期 1,126億円	57億円	48億円	84億円
前年同期比 +18.4% +175億円	前年同期比 +9.2% +5億円	前年同期比 +17.4% +7億円	前年同期比 +9.3% +7億円

※ EBITDA＝営業利益+減価償却等

【国内事業】

中核事業会社の株式会社オンワード樫山は、「クリック&トライ」サービス導入店舗を引き続き拡大しました。『２３区』の売上高は堅調に推移するとともに『アンフィーロ』は大幅な増収となりました。オーダーメイドスーツの『KASHIYAMA』を展開する株式会社オンワードパーソナルスタイルは、デジタル広告によるプロモーション施策が引き続き奏功し、売上高が大幅に伸長しました。チャコット株式会社は、『チャコット・コスメティクス』の定番ラスティングベースと、季節限定品「クールシリーズ」が好調に推移しました。『WEGO』を展開する株式会社ウィゴーは、各コラボアイテムや盛夏アイテムが好調に進捗し、売上高が大幅に伸長しました。以上の結果、国内事業の業績は増収増益となりました。

【海外事業】

ヨーロッパ地域は、英国ロンドン発祥のコンテンポラリーデザイナーズブランドであるJOSEPH事業が、小売は堅調に推移したものの、卸売が苦戦し、減収増益となりました。アメリカ地域は、前連結会計年度末に米国グアムにおけるゴルフ事業会社の株式譲渡をおこなった影響により減収となりましたが、トラディショナルブランドであるJ.PRESS事業のEコマース売上高が伸長し、収益性が改善しました。アジア地域は、オーダーメイドスーツの生産受注の増加に伴い大連工場の稼働率が向上し、売上高が拡大しました。一方で中国経済の減速などの影響から、中国・香港における小売は苦戦し、減収となりました。以上の結果、海外事業の業績は減収となりました。

2025年度（2025年3月1日から2026年2月28日まで）の業績予想

2025年度上期の実績は当初計画を上回りましたが、国内外の経営環境が依然として不透明な状況であることを踏まえ、通期の業績予想については据え置きといたします。下期の売上高は1,174億円、営業利益は58億円、当期純利益は52億円、EBITDAは86億円の予想とし、その結果、通期の売上高は前期比で10.4％増収の2,300億円、営業利益は13.3％増益の115億円、当期純利益は17.4％増益の100億円となる見通しです。なお、中期経営計画の目標である「2026年度に当期純利益100億円以上」を、1年前倒しで達成する見込みです。EBITDAについても、170億円を確保し、通期で2桁の増収・増益となる見通しです。

	売上高	営業利益	当期純利益	EBITDA※
下期	1,174億円	58億円	52億円	86億円
前年同期比	+3.6% +41億円	+17.7% +9億円	+17.5% +8億円	+10.7% +8億円
通期	2,300億円	115億円	100億円	170億円
前期比	+10.4% +216億円	+13.3% +13億円	+17.4% +15億円	+10.0% +15億円

※ EBITDA＝営業利益+減価償却等

トピックス①

スタンダードを昇華し続ける『２３区』ブランドの世界観を体現し、顧客エンゲージメントを追求する場として新業態『SALON ２３区』をスタート

株式会社オンワード樫山が展開する『２３区』は、ブランドの世界観をより深く体験いただける新業態『SALON ２３区』を阪急うめだ本店にオープンいたしました。

『SALON ２３区』は、従来の商品に加え、国内外からのセレクトアイテム、上質な店舗空間、そしてきめ細やかなサービスやおもてなしを融合させた体験型のフラッグシップストアです。ファッション業界が“モノ”を手に入れる消費から、“体験”を重視するスタイルへと大きく変化する中で、ブランドの世界観を五感で体感できる場を提供し、「選ぶ楽しさ」「新たな発見」「自分らしく過ごせる空間」を通じて、お客さま一人ひとりが“また訪れたくなる場所”を目指してまいります。

来春には東京・青山に路面店も開設予定で、ブランドの価値向上に取り組んでまいります。

また、2025年秋冬シーズンより、俳優・見上愛さんを新アンバサダーに起用し、WEBムービーを公式ブランドサイトで公開しております。ぜひご覧ください。

Webムービー
https://23ku-web.jp/

トピックス②

創業85年目を迎えたギフトクリエイションカンパニーの新たな挑戦 ギフト専門店「PRESENTERS ROOM」をニュウマン高輪にオープン

株式会社大和は、創業85年目を迎えた新たな挑戦として、現代のギフトニーズを捉えた“選べる”を贈る、ギフトの専門店「PRESENTERS ROOM(プレゼンターズルーム)」の1号店を、2025年9月12日にニュウマン高輪にオープンしました。

コロナ禍以降、国内ギフト市場が拡大しカジュアルな需要も増加。贈り物に「失敗したくない」という声も寄せられ、選び抜かれたカタログギフトやソーシャルギフトなど、用途に応じて様々なギフトを取り揃えています。

「PRESENTERS ROOM」店舗紹介：
https://www.onward-hd.co.jp/release/2025/20250908_1.html

「PRESENTERS ROOM」オンラインストア：
https://presentersroom.jp/

株主コミュニケーション

「第78期 株主通信(2024年3月1日～2025年2月28日)」で実施しました「WEBアンケート」にご協力いただきましてありがとうございました。以下にアンケート結果の概要をご報告するとともに、いただいた主なご意見・ご要望を紹介し、当社の回答を掲載いたします。

安定成長と株主還元を期待します。

株主優待含めた株主還元施策はさらなる拡充に期待。

配当金について連続増配できるよう期待しています。

A

当社は、株主の皆さまへの利益還元を経営の最重要施策の一つと位置づけ、配当性向の目安を40%以上とし、安定的で業績に連動した適正な利益配分を実施することを基本方針としています。2024年度期末配当につきましては、前期実績より6円増配の「1株につき26円」とし、2025年度につきましては、株主の皆さまへの利益還元の機会を充実させるため中間配当制度を導入した上で、4円増配の「1株につき30円(中間配当14円、期末配当16円)」とさせていただく予定です。

		2025年度(予想)	2024年度	2023年度
1株当たり配当金	中間	14円	—	—
	期末	16円	26円	20円
	合計	**30円**	26円	20円
配当金総額(百万円)		**4,072**	3,529	2,714
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)		**10,000**	8,516	6,611
配当性向		**40.7%**	41.4%	41.1%

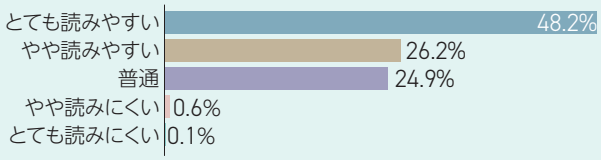
株主通信でブランド紹介や社史などを紹介してくれたら会社理解が深まって良いと思いました。

A

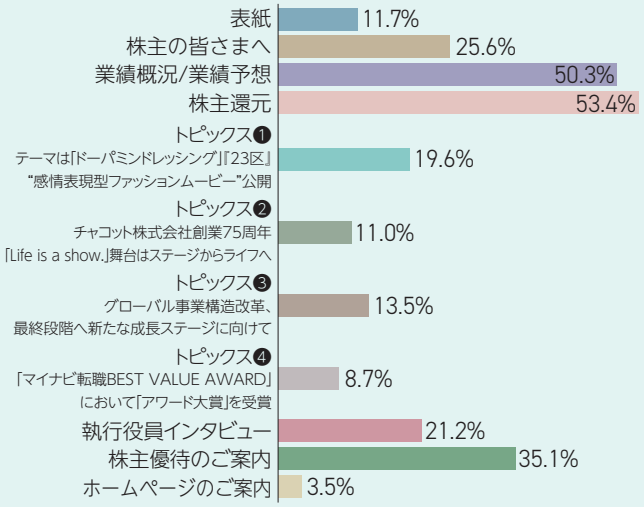
当社グループは、時代を超えて愛される高品質な商品や、個性を大切にするお客さま向けの上質な商品、さらに新たな世界観を持つ商品をご提案しています。主なブランドは裏面の「ブランド紹介」をご覧ください。
また、社史つきましては、裏面「ホームページのご案内」に掲載の「統合報告書」内、“価値創造の歴史”をご参照ください。

集計結果

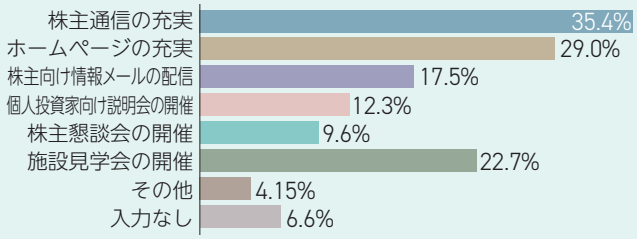
Q1 今回の株主通信の、読みやすさはいかがですか。(文字の大きさ、デザインについて)



Q2 今回の株主通信について、ご興味のあった記事を教えてください。(複数回答可)



Q3 当社のIR活動に期待することは何でしょうか。(複数回答可)



担当者からのひとこと

株主の皆さまからたくさんの貴重なご意見や励ましのお言葉をいただき、誠にありがとうございます。今回の株主通信では、皆さまの声をもとに株主還元や当社グループのブランドについてご紹介しています。これからもオンワードグループの強みを活かして、株主の皆さまの期待に応えられるよう、担当者として全力で頑張ってまいります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

Close-up

ブランド紹介

オンワードグループの主な展開ブランド

その他のブランドにつきましては、下記のリンクよりご参照ください。
https://www.onward-hd.co.jp/ir/2025_blandlist.pdf

アパレル事業

23区	THE STANDARD, NEW ME 世代を超えて愛される、 シンプルで上質な服。
ANY	「もっと自由で、もっと実用的な、手の届く“ちょうどよさ”」実用的な快適さと美しい色合いの、旬なカジュアルウェアを提案。
WEGO YOUR FAN	ストリート発のカルチャーを軸に、多岐にわたる商品開発や店頭イベントまでおこなうLifestyle Culture Store。
UNFILO アンフィーロ	動く。すべての人に、機能美を。 快適で着心地のいい、美しいデザインを。
J.PRESS	1902年創業以来、伝統と職人技を重んじ、上質で品格あるアメリカントラディショナルを提案し続けているメンズ・レディス・キッズブランド。
KASHIYAMA	”オーダーメイドの民主化” DXを利用した次世代オーダースーツ。

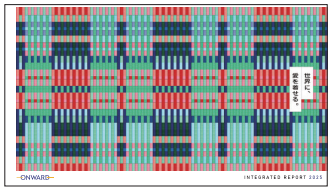
ウェルネス事業

Chacott COSMETICS	ステージで培った技術と品質を日常へ。思いのままに自己表現を楽しめる、肌に優しく、発色性に優れたメイク用品。
PET PARADISE	「ペットと人間の、新しいカンケイ」をブランドパーパスに掲げ、ペット主体の視点から新しい価値を提供するブランド。
PRESENTERS ROOM	“贈り、贈られる”という無限の可能性に出会える、ギフトの専門店「PRESENTERS ROOM」は、「“選べる”を贈る」をコンセプトにした新しい贈りもの体験をお届けします。
product organic	高品質で手頃な、環境と髪・肌に優しいナチュラル・オーガニックブランド。
Sirotan	“たてごとアザラシ”をモデルにしたオリジナルキャラクター。ぬいぐるみを中心に展開し、癒しを届けてきました。2017年よりライセンスビジネススタート。
dozo A GIFT WITH A STORY	ギフトではじまる、新しいものがたり。 お互いの“好き”をもっと知り合えるギフトサービスです。

ホームページのご案内

投資家情報
https://www.onward-hd.co.jp/ir/

統合報告書
https://www.onward-hd.co.jp/ir/library/annual_report.html



サステナビリティ
https://www.onward-hd.co.jp/sustainability/

IRメール配信登録
最新IR情報、ニュースリリース等をメールでお届けします
https://www.magicalir.net/8016/mail/index.php

株式会社 オンワードホールディングス

FSC ミックス 紙 | 責任ある森林管理を支えています FSC® C022915

VEGETABLE OIL INK

この報告書は、FSC®認証紙と、環境に優しい植物油インキを使用しています。